亞東

平成31年
季　刊
新春号
Vol.68

協会役員　謝長廷閣下を表敬訪問（平成31年1月17日）

一般社団法人日本台湾親善協会
アジアの架け橋　Japan-Taiwan Friendship Association

一般社団法人日本台湾親善協会の概要

名　称　一般社団法人日本台湾親善協会
（英文名Japan-Taiwan Friendship Association）

事務所　東京都千代田区平河町二―七―四　砂防会館別館二階
（必要に応じ支部を設ける）

目　的　会員相互の親睦並びに民主主義と自由を信条とする日本と台湾との相互理解と交流を促進して日本と台湾との関係強化と発展に寄与する。

事　業

① 日本と台湾との政治、経済、文化に関する調査研究及び講演会、研究会の開催並びに研究資料の出版

② 日本と台湾との文化、芸術の相互の紹介

③ 日本と台湾との経済協力の推進に必要な情報の収集及び斡旋

④ 我が国に在住する台湾関係者及び在日留学生に対する交流事業

⑤ その他本会の目的を達成するために必要な事業

日本台湾親善協会の変遷

社団法人日本台湾親善協会は、民主主義と自由経済を信条とするアジア人同志の交流を深める目的で一九四九年　東京に設立された『華南倶楽部』が発祥です。第二次世界大戦後の激動の時代でしたが、会員はひたすらアジアの平和と繁栄を希求し、友愛と信義を基調とした国際関係の樹立に努力を続けて参りました。その結果、この趣旨に賛同する有識者が次第に増加し、活発な活動とともに組織拡大の一途を辿りましたが、一九七二年の日中共同声明は、アジアの政治情勢のみならず、在日アジア人の日常にも大きな変化をもたらしました。

その前年即ち一九七一年、千葉三郎先生（衆議院議員）は、倶楽部を強化発展させる必要を痛感し、岸信介先生、福田赳夫先生、灘尾弘吉先生らと諮り、留日華僑有志の方々が協力され、自ら発起人となり同年五月二九日外務省認可『社団法人亜東親善協会』を設立致しました。

千葉先生の引退後、原文兵衛先生が参議院議長の要職のまま会長に就任され、その後、永年衆議院で活躍された藤尾正行先生が会長を引き継がれ、二一世紀の幕開けとともに玉澤徳一郎先生が会長を務められました。

二〇一二年一二月六日「一般社団法人及び一般財団法人の認定等に関する法律」の施行に伴い一般社団法人としての認可申請が受理され、二〇一三年四月一日より一般社団法人として再スタートいたしました。

日本を含むアジア諸国は、世界の経済に大きな影響を与える程に成長しました。かかる情勢の中、二〇一二年五月、元内閣総理大臣安倍晋三先生を会長にお迎え致しました。同年一二月安倍政権が発足、会長の内閣総理大臣復帰に伴い退任され、会長代行の大江康弘参議院議員が就任、二〇一八年五月からは元衆議院副議長の衛藤征士郎先生が会長に就任されました。

日本と台湾との友好交流を発展させ関係の強化を図り、アジアの繁栄と平和に貢献するため会員一同、新会長のもと、叡智を結集し努力を続けています。

季刊「亜東」平成三十一年　新春号・目次

一般社団法人亜東親善協会・概要・変遷　二頁
目　次・協会役員名簿　三頁
会長新年のあいさつ　四頁
二〇一九年新年祝辞　五頁
謝長廷閣下へ新年のご挨拶　六頁
研修会および理事懇親会を開催　八頁
台湾からの留学生の国会見学会を開催　九頁
国会見学　感想　十一頁
謹賀新年名刺広告　十二頁
事務局だより　十五頁

平成30年５月９日

役　員　名　簿

名誉会長　玉澤徳一郎
会　　長　衛藤征士郎
副 会 長　張　建国　張　碧華
　　多　忠和　並木　正芳

専務理事　赤松　則宏

業務執行理事
　　並木　正芳　藤山　雅康
　　柴田　徳文　笹岡　恭亮

理　　事　20名
衛藤征士郎　張　建国　張　碧華　多　忠和　並木　正芳
赤松　則宏　崎谷　秀彦　藤山　雅康　小松　省二　益山　茂
伊野　雅晴　柴田　徳文　笹岡　恭亮　森　康郎　岩城　光英
平野　達男　榎本　有里　金子万寿夫　富田　家彰

監　　事　２名　李　ハロルド　鈴木　慶一

事　務　局　崎谷　秀彦
　　李　孔暁

一般社団法人　日本台湾親善協会

会長新年のあいさつ

二〇一九年の新春、新年おめでとうございます。今年の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。本年は災害の無い穏やかな年でありますよう念じ上げます。

政治の安定は経済の安定と成長を創ります。世界の平和と繁栄を強く望みます。日本と台湾の発展は、アジア地域の繁栄と平和の象徴であり指標でもあります。

一月八日、世界銀行は世界経済の見通しを発表、本年の経済成長率は2．9％であり、昨年より0．1％低目で、厳しい前途多難の一年となるでしょう。米国と中国の経済摩擦、とりわけ米中の貿易戦争は世界経済に深刻な影響を与える可能性があります。かかる情勢の下、私達日台関係は、一層に緊密な連帯を促進しなければなりません。日台間の交流は官民は勿論のこと、日本台湾親善協会等々の民間交流は極めて良好、盛んであり、大変喜ばしいことです。

扨て、日本と環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）、更に日本と欧州各国との経済連携協定（ＥＵ―ＥＰＡ）が発効し、新たな貿易ルールの下、巨大なマーケットが動き出します。必然的に日本と台湾の経済交流にも、良い波及効果を創出すると確信しています。一方、日米間にも貿易摩擦がありますが、日米同盟の絆の下、大局に立って、未来志向の新しい日米関係を構築すべく努力して参ります。日米同盟の質的レベルアップは、日台間の全てのレベルアップに資することになります。

今年六月にＧ20サミットが開催され、日本が初めて議長国としてイニシアティブを発揮しなければなりません。Ｇ20サミットの成功に向けて台湾の大きなエールをお願い申し上げます。

結びに、二〇一九年、日本と台湾の飛躍と力強い前進を祈念して、年頭の挨拶と致します。

二〇一九年　新春

日本台湾親善協会　会長
衆議院議員　衛藤征士郎

二〇一九年新年祝辞

台北駐日経済文化代表処
謝長廷

明けましておめでとうございます。日本台湾親善協会の皆様におかれましては輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

二〇一六年六月に台湾の駐日代表として着任して以来、日本の四十七都道府県をすべて訪問しました。どの地方においても観光、経済、文化等さまざまな分野で交流が緊密であり、着任から二〇一八年十一月までの時点で、台湾と日本の地方自治体および地方議会との間で五十九件の友好交流協定または協力覚書が調印され、それ以前のと合計百二十一件となりました。

二〇一七年の台日間の相互往来者数は六百五十万人の大台を突破しました。二〇一八年は前年を上回るペースで推移しており、六百七十万人に達する見込みです。また、日本の高校の海外修学旅行先で、台湾が学校数、人数ともにトップになりました。若い世代から台日の交流が盛んになれば、将来の友好関係に大きく寄与することでしょう。

二〇一五年より毎年一回開催されている「台日交流サミット」は昨年初めて台湾の高雄市で開催されました。台日の六十二の地方議会から四百四十一名の地方議員が一堂に集う空前の規模になりました。同サミットで発表された「高雄宣言」では、CPTPPへの台湾の参加支持が表明されました。また、二〇一八年十一月末に台北で開催された第四十三回「台日貿易経済会議」では、AEO（優良事業者）相互承認、医療機器品質管理、特許審査情報の交換、中小企業協力、若手研究者共同研究など五項目の覚書・取決めに調印しました。

昨年より中国は、利益誘導で我が国と国交のある国を断交させ、一方的に航空路線を変更して我が国の国家安全保障に脅威を及ぼし、WHO年次総会などの国際機関への参加を妨害し、各国の航空会社に対し台湾に関する表記を変更するよう揺ぶりをかけるなど、台湾への圧力をエスカレートさせています。日本政府と国会はこれらについて懸念を示し、台湾への支持を表明されています。これこそ、国際社会において台湾には必ず味方がいるということの証しです。

去年十一月に実施された台湾の統一地方選挙では、県市長や県市議会議員選挙などのほか、十件の住民投票も同時実施され、台湾の民主主義はますます成熟しました。投票前には激しい政党間の競争がありましたが、開票結果が出ると、激高した抗議活動や暴力事件などは発生せず、すぐに落ち着きを取り戻したことは、世界の新興民主国家の模範といえるで

しょう。

二〇一八年は、貴協会にとって有意義な一年でした。衛藤会長が就任され、また名称も日本台湾親善協会にへと改められました。これからも、貴協会の皆様と共に、台日関係を更に発展させるべく推進して行きたいと考えております。引き続きお力添えのほど宜しくお願い致します

本年も皆様にとり、幸多き一年となりますよう心からお祈り致します。

謝長廷閣下へ新年のご挨拶

岩田善信

二〇一九年一月一七日、謝長廷・台北駐日経済文化代表處代表へ新年のご挨拶に港区白金台の代表處へ伺った。

早く着いたので、受付の女性に、一般社団法人日本台湾親善協会の者ですと名刺を渡すと、にっこりとほほ笑んで、二時四五分に皆様お集まりで三時より代表がお会いしますとのことだったので、ロビーに掲げられている絵画を見ていたら、受付の女性が近寄って来て、掲げられている絵画を説明する小冊子を手渡してくれた。

衛藤征士郎・会長はじめ総勢九名の会員と李孔暁・事務局員がそろったところで、謝長廷・代表の応接室に伺った。

衛藤征士郎・会長及び謝長廷・代表は、相互に新年の挨拶をされた。

衛藤征士郎・会長は、「本日は一般社団法人日本台湾親善協会の主だった理事と同行いたしました。本年も日本と台湾の親善が進むよう祈念します。今年二〇一九年六月に大阪で、G20サミットが日本の議長国として開催されます。分科会として外相会議が福岡で開催されます。G20サミットの成功に向けて台湾のエールをお願いします。」と述べた。

また、衛藤征士郎・会長は「二〇一九年は、ラグビーワールドカップが日本で開催されます。そこで、一般社団法人岩

手県ラグビーフットボール協会が、台湾ラグビーチームを岩手県に招待し釜石のチームと親善試合をする話があるので、謝長廷・代表に試合当日、ご挨拶をして頂きたい。」との要望をされた。

謝長廷・代表は「台湾と日本の地方自治体および地方議会との間で友好交流協定又は協力覚書が、着任から昨年十一月までに五十九件調印され、それ以前と合わせ合計百二十一件となった。」と述べた。

また、衛藤征士郎・会長は「二〇二〇年はオリンピックの年であります。」と述べたところ、謝長廷・代表は「私は台湾の体操大会で金メダルを取ったことがあるのですよ。吊り輪で一位になり金メダルを取りました。残念ですが総合では2位になってしまった。体操を続けたかったですけど、日本の体操オリンピック選手の小野喬さんの映画を見て、オリンピックの体操に出場することを諦めたのですよ。それで、大学に行くため猛勉強を始めました。」とお話をされた。

日本台湾親善協会の皆は、「それで、謝長廷・代表は、スタイルがシュとしているのですね。」と口々に話した。

時間が経過したので、最後に記念写真を撮り代表處を後にした。

研修会および理事懇親会を開催
～研修会では謝長廷駐日代表が講演～

本協会は十二月六日、衛藤征士郎会長、国会議員の各顧問および理監事・会員ら出席の下、研修会および理事懇談会を開催しました。研修会には台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表を講師にお迎えし、台湾情勢などをテーマに講演が行われました。

謝駐日代表は、先ごろ台湾の統一地方選挙と同時に行われた十項目の国民投票の結果、その内の一つである福島など五県の食品輸入規制が継続決定されたことについて言及し、今後はできる限り科学的根拠に基づいて、この問題を解決していくようにしたいとの考えを示すとともに、「これまで築き上げてきた台日関係がこれにより影響されないよう望んでいる」と述べました。

日本、アメリカ、台湾は良い意味の三角形を呈しており、自由、民主主義、人権のゴールデントライアングルを今後も堅持していきたいとの考えを強く示されました

台日交流については、台日地方間の交流を優先して力を入れていると強調し、これまでに台日間で百二十項目の友好・姉妹都市などの協定が結ばれ、その内の五十八項目は自身の着任後に締結されたものだと紹介した。その上で、今後も衛藤会長ら同協会の会員と共に、「より一層緊密な台日関係を構築していきたい」と述べられました。

衛藤会長は研修会の後で行われた理事懇談会のご挨拶の中で、今後も謝駐日代表を中心に日台交流をますます深めていくとともに、台湾の民進党政権および与野党の国会議員らともしっかりと交流を深めていきたいとの考えを示されました。

本協会は今年五月に

衆議院議員の衛藤征士郎会長が就任し、九月二十七日の臨時総会で、これまでの「亜東親善協会」から「日本台湾親善協会」へと名称が変更になった。

改名したことを機に、各都道府県に国会議員が当協会の顧問として必ず一人就任することを目指し、衛藤会長自ら各国会議員に顧問就任を要請、これが全県実現したと報告されました。

出席した国会議員を代表してご挨拶をいただいた岸信夫衆議院議員は、「日台間は最も近いパートナーの関係であり、常に緊密な関係を作っていかなければならない」と強調し、日本台湾親善協会の各メンバーがそういった意識を持ち、引き続き日台の絆を深めていってほしいと呼びかけました。

台湾からの留学生の国会見学会を開催

日本台湾親善協会は、二〇一八年十二月二十一日、台湾からの留学生の国会見学会を開催しました。

午前十一時に、東京地区で学ぶ台湾留学生の組織「台湾留日東京同学会」の劉冠賢会長はじめメンバー二十一名が先ず、国会議事堂に隣接する衆議院第一議員会館の会議室に集合して懇談会を行いました。

懇談会には、台北駐日経済文化代表処の向明徳政務部長や日本台湾交流協会の佐々木徹総務部副長にもご臨席いただき、協会からは衛藤征士郎会長、張建国及び並木正芳副会長、柴田徳文及び朱（笹岡）恭亮業務執行理事らが出席しました。

衛藤会長は、学生時代に日本の代表として台湾の大学を訪問して親切にしていただいた思い出などを話される

とともに、今後も中華民国・台湾との盤石な関係をより一層強化していきたいとの考えを示し、「それをつなぐ役割が留学生の皆さんです。」と期待を寄せられました。向政務部長は、衛藤会長が二〇一八年九月に台湾との友好親善という趣旨をより一層明確にするために当協会の名称を改正したことや、台湾のCPTTP参加を支持し尽力していることに感謝の意を表し、対日友好をさらに発展させたいとご挨拶されました。

留学生たちからは、米中の貿易摩擦問題や先ごろ台湾で行われた住民投票の結果により福島など五県の食品輸入規制の継続決定、台湾のTPPへの参加、日本人との婚姻届けに記載される国籍問題、男女平等（ジェンダー）、奨学金など日本の立場からの見解などを尋ねる多岐にわたる質問や要望があり、衛藤会長を中心に丁寧にお答えして和やかに懇談しました。

懇談会に続いて午後一時半から国会内見学を開始し、「衆議院本会議場」や天皇陛下がご休憩なされる「御休所」、「中央玄関広間」などをはじめ、特別の計らいで衆議院議長応接室や自民党総裁室、議員控室などにも入らせていただき興味深く熱心に見学しました。

見学後は、国会前庭や正門前で記念写真を撮影するなどしてたいへん有意義で楽しい時間を過ごし帰路につきました。

国会見学　感想

台灣留日東京学生会　会長　劉冠賢

朝10時半に永田町駅に着き、参加者約25名の学生と国会について話しました。「初めて国会に来た！」、「日本の国会はやはり雰囲気違う」などの声がございました。国会は千代田区永田町にありますが、国会議事堂の周辺には各政党の本部がございまして、首相官邸や衆議院議長公邸や参議院議長公邸などといった政治関係の施設が多く建っているため、永田町は政治の町と表現されることも多いです。

見学前の懇親会で衆議院議員衛藤征士郎氏と前衆議院議員並木正芳氏にお会いする機会を得た。二人の議員さんに消費税問題、２０２０年東京オリンピック、台湾正名、日本経済、米中貿易戦、日本と台湾外交関係の話などを聞かせて頂いた。

見学中に衆議院本会議場の傍聴席から議場内を眺め、普段テレビで見ている通りに椅子が並んでいる。天皇陛下がお使いになる御休所の天井の装飾や菊のご紋章の入った調度品の素晴らしさに目を奪われました。いつも大臣就任の集合写真を撮る階段も拝見し、日本の政治の中枢に自分が今いることに感慨深かったです。中央広間には歴代の大臣像（板垣退助元大臣、大隈重信元大臣、伊藤博文元大臣）があり、一か所完成されていないことの意味（「政治に完成はない、未完の象徴」、「政治には終わりがなく未来を見据えて行うものである」）に感銘を受けました。最後に国会議事堂の正面に到着。記念の集合写真撮影をして解散でした。国会議事堂は荘厳な感想を抱きました

国会見学に参加したことで貴重な体験ができました。今回国会見学を通じて、生の国会風景を学習した、日本政治の仕組みをよく理解でき、充実した一日でした。

平成三十一年　謹賀新年　（順不同）

台北駐日經濟文化代表處
代表　謝　長廷

公益財団法人日本台湾交流協会
理事長　谷崎　泰明

一般社団法人 日本台湾親善協会会長
衆議院議員　衛藤征士郎
東京都千代田区永田町二―二―一
衆議院第一議員会館一一〇一号室
新21世紀政治経済研究所
電話〇三（三五〇八）七六一八

台北駐大阪経済文化辨事處
處長　李　世丙
大阪市北区中之島二―三―一八
中之島フェスティバルタワー一九F
電話〇六（六二二七）八六二三

台北駐日経済文化代表處
横浜分處
處長　王　東生
横浜市中区日本大通り六〇
朝日生命横浜ビル二階
電話〇四五（六四一）七七三七

自由民主党団体総局長
衆議院議員　井上　信治
東京都千代田区永田町二―二―一
衆議院第一議員会館三一七号室
電話〇三（三五〇八）七三二八

衆議院議員　奥野　信亮
東京都千代田区永田町二―二―一
衆議院第二議員会館一〇〇一号室
電話〇三（三五〇八）七四二一

衆議院議員　金子　恭之（やすし）
東京都千代田区永田町二―一―二
衆議院第二議員会館四一〇号室
電話〇三（三五〇八）七四一〇

衆議院議員　金子万寿夫
東京都千代区永田町二―一―二
衆議院第二議員会館二二三号室
電話〇三（三五八一）五一一一
内線七〇二一三
FAX〇三（三五〇八）三八一一

衆議院議員　古屋　圭司
東京都千代田区永田町二―一―二
衆議院第二議員会館四一〇号室
電話〇三（三五〇八）七四一〇

衆議院議員　吉川　貴盛
東京都千代田区永田町二―一―二
衆議院第二議員会館一二〇二号室
電話〇三（三五〇八）七四五一

衆議院議員　谷川　弥一
東京都千代田区永田町二―二―一
衆議院第二議員会館一一〇一号室
電話〇三（三五〇八）七〇一四
FAX〇三（三五〇六）〇五五七

平成三十一年　謹賀新年　（順不同）

参議院議員
鶴保　庸介
東京都千代田区永田町二―一―一
参議院議員会館三一三号室
電話〇三（六五五〇）〇三一三

参議院議員　山本　順三
〒一〇〇―八九六二
東京都千代田区永田町二―一―一
参議院議員会館一〇一九号室
電話〇三（六五五〇）一〇一九（直通）
FAX〇三（六五五一）一〇一九

日本中華聯合總會
会　長　**新垣　旬子**
〒一〇六―〇〇三二
東京都港区六本木七―一五―一三
ダイヤハイツ九〇九号室
電話〇三（六四四七）五〇一三
FAX〇三（六四四七）五〇一四

一般財団法人　台湾協会
理事長　**森田　高光**
東京都新宿区新宿六―二九―六
エルツ6ビル四F
電話〇三（三二〇〇）八一一六
FAX〇三（三二〇〇）八一八〇

中華民國留日横濱華僑總會
會　長　**洪　益芬**
理監事一同
神奈川県横浜市中区山下町一四〇番地
電話〇四五（六八一）二一一四
FAX〇四五（二〇一）二八五五

学校法人　横濱中華學院
校　長　**馮　彦國**
横浜市中区山下町一四二番地
電話〇四五（六八一）三六〇八
FAX〇四五（六七一）一〇七〇

学校法人東京国際学園
東京外語専門学校
東京国際福祉専門学校
東京外語日本語学校
理事長　**武田　哲一**
東京都新宿区西新宿七―三―八
電話〇三（三三六七）一一〇三

株式会社ホテル横須賀
代表取締役　**長尾　和典**
横須賀市米が浜通り二―七
電話〇四六（八二五）一一一一
FAX〇四六（八二〇）一一一三

東光株式会社
代表取締役　**山口　裕志**
東京都渋谷区富ヶ谷二―一―五
電話〇三（五七九〇）五七九〇
FAX〇三（五七九〇）五七九九

株式会社関門海
代表取締役会長　**田中　正**
〒五五〇―〇〇一四
大阪市西区北堀江二―三―三
電話〇六（六五七八）〇〇二九
FAX〇六（六五七八）〇〇三〇

有限会社沖山興業
代表取締役　**沖山　建夫**
〒一〇〇―一五一一
東京都八丈島八丈町三根一八一番地五
電話〇四九九六（二）〇一一一（代）

株式会社大海
代表取締役　**並木　久**
〒二五二―〇二四四
神奈川県相模原市中央区
田名四七五三―八
電話〇九〇（二五四〇）四四六一

平成三十一年　謹賀新年　（順不同）

株式会社オーク・ファミリー
代表取締役　屋島　範光
東京都新宿区西新宿七丁目一三番五号
山京ビル五階
電話〇三（五三三〇）八〇八八
FAX〇三（五三三〇）〇四五五

一般社団法人日本台湾親善協会
副会長　張　建國

一般社団法人日本台湾親善協会
副会長　張　碧華
〒一〇一―〇〇二一
東京都千代田区外神田三―七―七
電話〇三（三二五七）〇〇三二

学校法人電子学園
日本電子専門学校
学園長　多（おおの）　忠和（ただかず）

日本台湾親善協会副会長
元衆議院議員
業務執行理事　並木　正芳
埼玉県所沢市泉町一七九三―一三―一〇一
電話〇四（二九二四）八〇五〇

一般社団法人日本台湾親善協会
専務理事　赤松　則宏

一般社団法人日本台湾親善協会
業務執行理事　柴田　德文

一般社団法人日本台湾親善協会
理　事　崎谷　秀彦
東京都港区六―四―一一
電話〇三（三五八三）三〇三〇

一般社団法人日本台湾親善協会
理　事　程　金笙

あざみ野ローンテニスクラブ
代表取締役　益山　茂
横浜市青葉区あざみ野二―一九―一

長龍貿易株式会社
（クラシックカー売買）
代表取締役　榎本　有里
埼玉県新座市中野二―七―五
電話〇四八（四七七）三五五八
FAX〇四八（四七七）九〇一七

エイチアイインターナショナル株式会社
代表取締役　李　ハロルド
東京都新宿区新宿五―一七―一八
電話〇三（三二〇三）〇一二一
FAX〇三（三二〇三）〇一二九

平成三十一年　謹　賀　新　年　（順不同）

東京税理士会　常任監事
税理士　岩田　善信
〒一〇七―〇〇六二
東京都港区南青山五丁目六番九号
サウス青山マンション五〇四号室
電話〇三（三四〇九）七八八八
FAX〇三（三四〇九）九四〇五

事務局だより

新春互礼会・創立70周年合同大会開催予定
日期・・平成31年２月21日
場所・・憲政記念館

季　刊　**亜　東**　**（アジアの架け橋）** 平成３１年　新春号（No.68）
発行日　：平成31年１月15日
発行所　：一般社団法人日本台湾親善協会
発行人　：衛藤征士郎
所在地　：〒102－0093 東京都千代田区平河町2－7－5　砂防会館別館2階
Tel：03－3261－6405　Fax：03－3556－5770
Ｈ　Ｐ　：atousinzen@nifty.com
印　刷　：ヨシダ印刷株式会社

台湾の翼
チャイナ エアラインなら、
うまくいく。

日台の架け橋であるチャイナ エアラインは
日本国内主要15空港から台湾へ最多の直行便を運航
豊富なフライトネットワークから、最適なフライトスケジュールをご提案
充実の法人プログラム
フルサービス航空会社ならお仕事でのご利用も安心
あなたのビジネスパートナーにチャイナ エアラインをお選びください

CHINA AIRLINES
MANDARIN AIRLINES

www.china-airlines.com/jp/jp